Nidec
All for dreams

Nidec
All for dreams

日本電産株式会社

日本電産株式会社

ミックス
責任ある木質資源を使用した紙
FSC® C012538
www.fsc.org
VEGETABLE OIL INK
2021.6.7,000

私たち日本電産グループは、コーポレートブランド「**Nidec**」のもとに、

グループ企業が一つになり、各々の専門性をより高度に融合させていくことで、

新たな「世界初、世界一」を追求し、

より豊かでサステイナブルな社会の実現に貢献していきます。

Nidec

All for dreams

# グループが一丸となって新たな「世界初、世界一」を追求し世界を動かしていきます。

「世界一になる！」――こんな目標を掲げて、私が仲間３人と日本電産を設立したのが1973年のことで、事業の中心に据えたのは、学生時代から研究し続けてきた精密小型モータでした。こうして、４人しかいない日本電産が誕生したのです。

しかし、私たちにあるのは「世界一」に挑戦する気概と気迫、独自の発想と技術力だけでした。物質的には「無」からの出発でしたが、世にない技術や性能をもった製品を創ることができれば必ず道は拓ける、と信じていました。1979年、当社が世界に先駆けて実用化したブラシレスDCモータによるハードディスクの直接駆動方式は、この技術がなければ、その後のコンピュータの小型化は実現しなかったと言われています。

以降も、「世界初」「世界最小」といった他社には真似のできない製品を次々と世に送り出し続け、今日では、精密小型から超大型までのあらゆるモータとその周辺機器へと製品領域を拡大し、IT･OAのみならず家電製品や自動車、商業･産業機器、環境エネルギーなどあらゆる分野に貢献を続けています。「世界No.1の総合モーターメーカー」としてグループ一丸となって世界各地からのご期待にお応えし、世の中になくてはならないソリューションを提供する「総合電機メーカー」を目指して参ります。

今後とも、ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

代表取締役会長
永守 重信

当社は2030年度に売上高10兆円達成という目標を掲げています。私は永守会長と共にこの高い目標を実現します。

現在、当社は技術革新の五つの大波に乗ろうとしており、事業環境としてはこれまでにない大きなチャンスに恵まれています。五つの大波とは「脱炭素化の波」「省人化の波」「省電力化とコロナ後の波」「デジタルデータ爆発の波」「5G&サーマルソリューションの波」であり、これまで育んできた要素技術をもってすれば、これらの大波を制していずれの分野でも世界No.1シェア企業として市場を席巻できる大きな可能性があります。

世界の企業と一線を画し、このチャンスを掴む為には、製品の品質を強化しお客様に「日本電産の品質は流石だ」と確実に言っていただけるレベルに引き上げることが重要であり、そのご信頼こそが企業の成長を実現するのです。

企業のサステナビリティは成長のもとにしか存在しません。お客様、株主･投資家の皆様、お取引先様、そして従業員に対して、成長を担保することが唯一無二のサステナビリティであると考えます。精密小型、家電･産業、車載、その他当社グループのすべての事業で世の中になくてはならない高品質の製品をお届けすることで、皆様とともに成長して参りたく存じます。

代表取締役社長執行役員 兼 最高経営責任者（CEO）
関 潤

# 創業以来変わらぬ三つの精神を原動力に「世界No.1 の総合電機メーカー」を目指しこれからも世界規模での挑戦を続けていきます。

当社は、世界に300社を超えるグループ企業を擁し、精密小型から超大型まで全て手がける
「世界No.1の総合モーターメーカー」となりました。
「世界一」の実現に向けた「情熱、熱意、執念」「知的ハードワーキング」
「すぐやる、必ずやる、出来るまでやる」という三つの精神。
この精神こそが、当社のアイデンティティであり、当社の強みなのです。
今後も私たちはモータとその周辺機器、応用機器による世界一の製品・ソリューションを創造し、
お客様に新たな価値を提供することで100年後も成長を続ける企業を目指します。
「世界No.1の総合モーターメーカー」から「世界No.1の総合電機メーカー」へ
日本電産グループの飽くなき闘いは続きます。

## 日本電産グループ：新企業理念　私たちの使命、そして目指す姿。

当社は2023年に創業50周年を迎えるにあたり、
100年を超えて成長し続けることを展望して「新企業理念」を制定しました。
「新企業理念」は「社是」を根幹とし、日本電産グループの50年の成長の源であった、「三つの精神」
（情熱・熱意・執念、知的ハードワーキング、すぐやる・必ずやる・出来るまでやる）に代表される価値観・行動規範・
行動指針を継承しつつ、日本電産グループの成長の目的や存在意義を「使命（Mission）」として明確にし、
またNo. 1に拘る中で、日本電産グループの営為を通じて地球環境の保全や世界の人々の豊かな生活に寄与する
ソリューション企業集団を「目指す姿（Vision）」として新たに制定の上、すべてを一体としました。

**Nidec**
【企業理念】

**社是**（Policy）
我社は科学・技術・技能の一体化と誠実な心をもって全世界に通じる製品を生産し　社会に貢献すると同時に　会社および全従業員の繁栄を推進することをむねとする。

**使命**（Mission）
世界一高性能なモータで地球に貢献する
全社員の弛まざる努力により、当社が世に送りだすモータを中心とした製品を通じて、地球環境の保全を始めとする様々な課題を解決すると共に世界の人々のより良い生活の実現に貢献する。

**目指す姿**（Vision）
■100年を超えて成長し続けるグローバル企業
■人類が抱える多くの課題を解決する世界No.1のソリューション企業集団

**価値観**（Value）
“Nidec Way”「挑戦への道」
・三大精神「情熱 熱意 執念／知的ハードワーキング／すぐやる 必ずやる 出来るまでやる」
・「創造性／敬意／協働／王道／決断力／チームスピリット／人材育成」

**行動規範**（Discipline）
**行動指針**（Code）
■3Q6S
■社員心得7ヶ条／ 3P（proactive, professional, productive）の徹底／ 6悪の排除
■経営3原則　■3つの経営基本理念
■三大経営手法　三大経営姿勢　圧勝の3条件
■CSR憲章（社会的責任・多様性の尊重）　等

### コーポレート・スローガン

**All for dreams**

日本電産グループは、
コーポレート・スローガン「All for dreams」
及び日本電産グループのアイデンティティと
ステークホルダーの皆様にご提供する価値を明文化した
コーポレート・ステートメントを定めています。

### コーポレート・ステートメント

夢は、私たちの原点。
夢は、私たちのすすむ原動力。
夢は、私たちのつくる未来。

世界の夢、人々の夢、そして私たちの夢。
夢を抱くことから、
新しい何かを創る情熱や発想が生まれ、
世にない技術や性能を持った製品が実現できるのです。

**All for dreams ― すべては夢のために**

時代に夢があるかぎり、
日本電産グループは挑戦します。

世界と人々の（今日と）明日のために、
「世界初」「世界一」を追求する技術と製品で
快適な社会づくりに貢献をつづけます。

# Becoming the Global No.1

たった4人の夢からはじまった、
世界一のモーターメーカーへの軌跡。

## 1973 ▸▸▸

### 小さなプレハブ小屋からスタートした たった4人の大きな夢

1973年7月23日、現・代表取締役会長（CEO）の永守重信（28歳）は、「世界一になる!」との思いのもと、仲間3人と京都市西京区に資本金2,000万円で日本電産株式会社を設立しました。
精密小型ACモータの製造・販売を開始。
単身アメリカへ渡り、飛び込み営業で有力企業を顧客として開拓しました。

精密小型ACモータ

米国セントポールでの営業活動

## 1980's～1990's ▸▸▸

### HDD用スピンドルモータで世界一に

1981年、米国のパソコン市場の急速な成長を受け、5.25インチ型ハードディスク装置用スピンドルモータの生産を開始。その後、OA機器用精密小型ACモータ、軸流型ブラシレスDCファンを生産。1984年には3.5インチ型ハードディスク装置用スピンドルモータの生産が始動、本格化しました。
さらに同年、米国トリン社の軸流ファン部門を買収し、米国にニデックトリンコーポレーションを設立。これが日本電産の初めてのM&Aとなりました。国内では滋賀、岡山、長野、鳥取に生産拠点を新設。海外ではシンガポール、タイ、台湾、中国、ドイツ、フィリピン等に進出し、一気に京都のベンチャー企業から世界企業へと驚異的な躍進を遂げました。

トリン社買収契約に調印

大阪証券取引所上場認証式

## 2000's ▸▸▸

### 事業の多角化とM&Aの積極展開で グローバル企業へ大きく飛躍

2001年、ニューヨーク証券取引所に上場。
2003年には「本社・中央開発技術研究所」ビルが京都市南区に完成。
国内外問わず、積極的なM&Aで世界市場をターゲットに事業展開を進め、精密小型モータ分野では世界のリーディングカンパニーになりました。

ニューヨーク証券取引所上場オープニングベル

日本サーボ（株）資本参加

## Moving Forward ▸▸▸

### 「グローバル総合電機メーカー」へ そして、さらなる高みへの挑戦

世界トップレベルの技術力、開発力、生産力を強みに持つ日本電産グループは、グループ一体化経営によるシナジー製品の開発や成長戦略を現実化させ「グローバル総合電機メーカー」を目指していきます。

フランス・グループPSAとの自動車用トラクションモータに関する合弁会社設立記者会見

セルビア進出発表会

そして全世界10万人の社員で進む
グローバル総合電機メーカーへの道――。

**1973.07** 京都市西京区に日本電産株式会社を設立。

**1973.08** 精密小型ACモータの製造・販売を開始。

**1976.04** 米国セントポール市に米国日本電産㈱を設立。

**1984.02** 米国トリントン市にニデック・トリンコーポレーション（現 米国日本電産㈱）を設立。1件目のM&A。

**1988.11** 京都証券取引所並びに大阪証券取引所市場第二部に株式を上場。

**1998.09** 東京証券取引所市場第一部上場。

**2001.09** ニューヨーク証券取引所へ上場（2016年5月まで）。

**2003.05** 京都市南区に本社事務所を移転し、中央開発技術研究所を開設。

**2015.03** 売上高1兆円を突破。

**2017.01** 米国エマソン・エレクトリック社のモータ・ドライブ事業及び発電機事業（現 日本電産ルロア・ソマーグループ、日本電産コントロール・テクニクスグループ）を買収。

**2019.07** 米国ワールプール社のコンプレッサ事業 エンブラコ（現 日本電産グローバル・アプライアンス）を買収。

**2019.10** オムロンオートモーティブエレクトロニクス株式会社（現 日本電産モビリティ株式会社）を買収。

**2021.02** 三菱重工工作機械株式会社の株式取得に関する譲渡契約を締結。

## *For everything that spins and moves*

# 「回るもの、動くもの」のすべてに

### 精密小型から超大型まで、駆動技術の先駆者を目指して

当社はＨＤＤ用モータで世界No.1の地位を築き上げてきました。そして、同時に製品ラインアップも精密小型から超大型までの各種モータへと次々に拡大してきました。現在では、製品の活躍するフィールドはIT、OA機器分野にとどまらず、家電製品、自動車、商業・産業機器、環境エネルギーなど幅広い分野に広がっています。すべての「回るもの、動くもの」をキーワードに、日本電産グループは社会のニーズに応える次代の駆動技術を創造しています。

## *Automotive*

# 車　載

- シャーシ用
  （電動パワーステアリング用モータ・ECU、ABS/ESCモータ等）
- パワートレイン用
  （トラクションモータ、コントロールバルブ、デュアルクラッチトランスミッション用アクチュエータ、xEV用DC/DCコンバータ等）
- ADAS（先進運転支援）用
  （ADASカメラユニット、センシング用カメラモジュール、ミリ波レーダユニット等）
- ボディー用
  （ヘッドアップディスプレー駆動モータ、カーオーディオ・ナビゲーションシステム用冷却ファン、キーレスエントリーシステム、パワーウィンドウスイッチ等）

トラクションモータシステム（E-Axle）

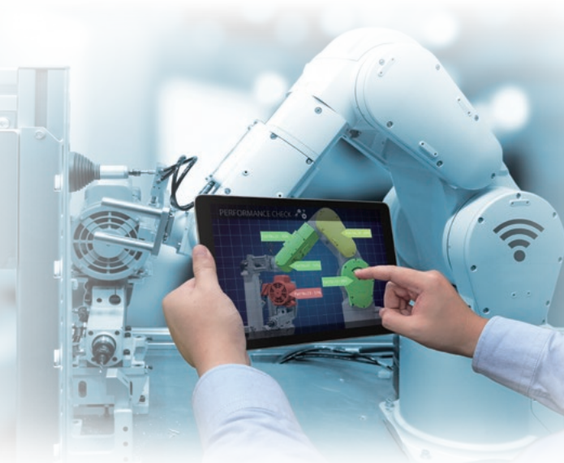
電動パワーステアリング（EPS）パワーパック

新型センサフュージョン

## *Robotics*

# ロボティクス

- サービスロボット用モータ
- ドローン用モータ
- 無人搬送台車
- 減速機
- カメラモジュール
- 電子部品
  （圧力センサ、スイッチ、エンコーダ等）
- ACサーボモータ
- DCサーボモジュール
- 産業用ロボットモジュール
- 産業ロボット用関節モジュール
- リニアアクチュエータ



各製品については、「日本電産グループ総合製品カタログ」
**https://www.nidec.com/jp/product/catalog/** をご覧ください。

ロボット用精密減速機

ACサーボモータ（S−FLAGⅡ）

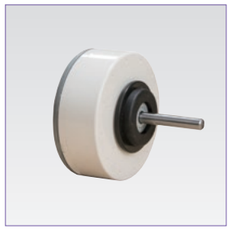
DCサーボモジュール

*For everything that spins and moves*

# 「回るもの、動くもの」のすべてに

## *Home Appliances*
## 家　電

- エアコン用モータ・モータ駆動ユニット
- 冷蔵庫用ファンモータ・モータ駆動ユニット・アイスメーカ
- 洗濯機・乾燥機用モータ・モータ駆動ユニット
- 食洗機用モータ・ポンプ
- 掃除機用モータ
- 家庭用冷蔵庫用コンプレッサー



エアコン用ファンモータ

家庭用冷蔵庫用コンプレッサー

## *IoT Products (Internet of Things Products)*
## IoT製品

- ネットワーク機器
- 無人搬送台車
- 産業用ロボットモジュール
- 画像センサ
- モジュール自動化ライン
- 高精度屋内測位システム（IPS）

IoTユニット

ショートレンジ用ロケータ（Q17）

## *Agriculture/Logistics*
## 物流・農業

- 無人搬送台車
- 無人搬送台車駆動用ユニット
- ドローン用モータ
- 電動フォークリフト駆動用モータ
- フォークリフト用荷役モータ
- サーボモータ
- インバータードライブ
- コンベア用モータ

無人搬送台車

ドローン用モータ

## *Electronic Parts/Sensors*
## 電子部品・センサ

- ロータリエンコーダ
- ジョイスティックエンコーダ
- 圧力センサ
- 漏液センサ
- 磁気量センサ
- ポテンショメータ
- デジタルポテンショメータ
- スイッチ
- トリマポテンショメータ
- アッテネータ
- 回路保護部品
- イメージスキャナユニット
- スリップリング

圧力センサ

スイッチ

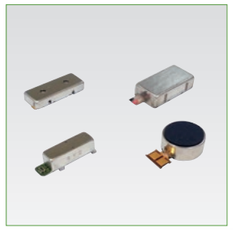
*For everything that spins and moves*

「回るもの、動くもの」のすべてに

## *Tactile Devices*

# 触覚デバイス

- スマートフォン・タブレット用
- ウェアラブル用
- VR ／ゲーム用コントローラ用
- 家電コントロールパネル用
- 車載タッチパネル用
- ロボット用



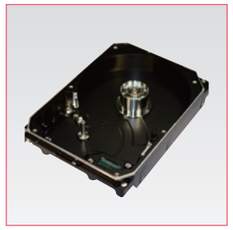
触覚デバイス（モバイル用リニア）

触覚デバイス（大振動用リニア）

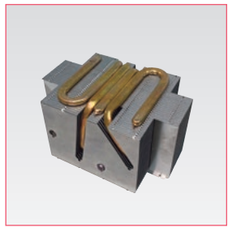
## *IT/Office Automation/Mobile Devices/ Optical Components*

# IT・OA・モバイル・光学機器

- HDD用モータ/ベースプレート
- ファンモータ
- 小型ブラシレスDCモータ
- ハイブリッドステッピングモータ
- レンズユニット
- シャッター
- 精密切削部品
- コアレスモータ
- 小型ブラシ付モータ
- DLP™プロジェクタ用カラーホイールモータ
- ステッピングモータ
- 高精度ギヤ
- ポリゴンレーザスキャナ
- サーマルモジュール



HDD用モータ／ベースプレート



ヒートパイプ

## *Home/Residential*

# 住設機器

- キッチン周辺機器用
- 給湯器・ガス湯沸かし器・家庭用燃料電池用
- 浴室乾燥機・浴室暖房乾燥機用
- サニタリー・水廻り設備用
- リビング用
- バリアフリー・ユニバーサルデザイン用
- セキュリティカメラ用

ガス調整弁用ステッピングモータ

サニタリー用自動洗浄ユニット

## *Medical/Health Care*

# 医療・ヘルスケア

- アシストスーツ・電動車いす・パーソナルモビリティ用
- マッサージチェア用モータ
- ベッド用
- 透析装置用
- 医療用ディスポーザブル部品
- CTスキャナー用
- 調剤機器用
- カスタム操作パネル（IP67）
- 輸液機器用モータ

透析ポンプ

超偏平アクチュエータ

*For everything that spins and moves*

# 「回るもの、動くもの」のすべてに

## *Commercial*
## 商業・業務用

- ゴルフ・ユーティリティカート用
- 搬送機器用
- 電気自動車用
- エレベータ機器
- 業務用空調用
- ポンプ用モータ
- 業務用厨房機器用モータ・ポンプ
- 業務用冷蔵庫用モータ
- フロアケア機器
- 金融系端末／交通系端末／流通系端末（カード発行機・カードリーダ）
- レーザーマーカー
- アミューズメント用

エレベータ制御装置／エレベータモータ

トラクションモータ駆動機構

## *Industrial*
## 産　業

- 産業用モータ・ドライブ
- 発電機・ドライブ
- 自然エネルギーソリューション・電力変換システム
- 減速機

産業用モータ

電力変換システム

## *Processing/Inspection Equipment*
## 工程設備・検査装置

- プリント基板向け 通電検査装置
- 基板分割装置
- 光学式外観検査装置・半導体関連製品
- 検査治具・ソフトウェア
- 半田装置
- 半導体パッケージ基板向け 通電検査装置
- ディスペンサー・コーティング装置
- 特殊機器・車載用部品検査機器
- 画像センサ
- 表示／入力デバイス向け検査装置
- プレス機・送り装置
- 金型設計・製作
- 巻線機
- レーザーマーカー
- 計測・組立設備
- 無人搬送台車
- 計測・測定機器

半導体パッケージ検査装置

モータコア加工用
精密高速自動プレス機

## *Other Products*
## その他製品

- オルゴール
- 陶芸
- サービス

電動ろくろ

オルゴール

「日本電産サンキョー オルゴール記念館 すわのね」の詳細は左の2次元コードからご覧いただけます。

日本電産サンキョー
オルゴール記念館
すわのね

長野技術開発センター

日本電産（大連）有限公司 技術開発センター

尼得科（蘇州）有限公司 研究開発センター

日本電産生産技術研究所

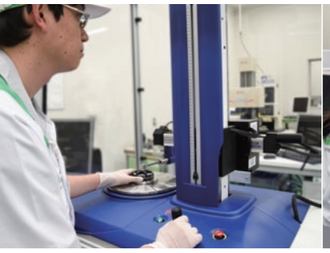
滋賀技術開発センター

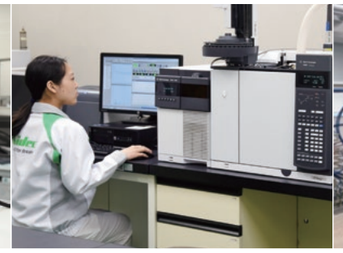
ベトナム日本電産会社 技術開発センター

## *Research & Development*

# 世界最高レベルの研究開発体制

中央開発技術研究所

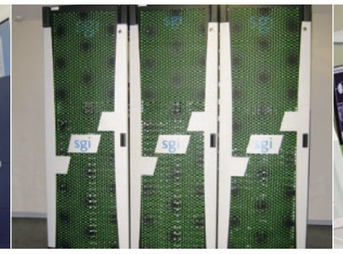

真円度測定機

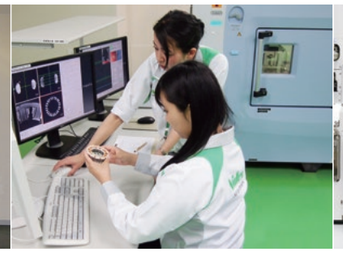

ダイナミックスペース法ガスクロマトグラフィー

スパッタ装置

フーリエ変換赤外分光光度計

電界放出形走査電子顕微鏡


シミュレーション用スーパーコンピュータ


X線CTスキャナー

高性能電子顕微鏡などの最先端解析装置群

## 未来を創る研究開発

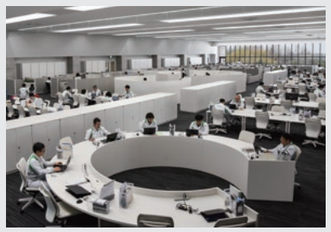
研究開発（R&D）における私たちの基本理念は“企業の成長エンジンを次々と生み出すこと”です。企業が100年を超えて永続的に成長するためには、未来のマーケットを見通し、世界No.1の技術が入った製品を絶え間なく創出していくことが必須です。このため、R&DのR（研究）については、創業40周年の記念すべき年である2013年、日本電産中央モーター基礎技術研究所の新棟を竣工し、2012年に立ち上げた台湾の研究所と連携して基礎研究と新しい応用研究を推進しています。さらに、2018年には、けいはんな学研都市に新規に日本電産生産技術研究所を竣工し、研究の幅を大きく広げています。一方、D（開発）は、当社及びグループ会社の京都、滋賀、長野等の国内開発拠点やグローバルに展開する海外工場の開発拠点で、顧客に密着した開発を研究所と連携して推進しています。今、時代は第4次産業革命とも言われるIoT（Internet of Things）を活用したものづくりに向けて大きな変革期に突入しています。この変革をいち早く捉え、まだ見ぬ新しい社会を形成する基本的コンポーネントとしてのモータ及びモータ関連技術を顧客へ提案し、革新的生産技術で新商品を作り上げ、提供するため、日本電産グループ一丸となって融合的に研究・開発・生産を進めていきます。

### 日本電産グループ新拠点の建設構想について

2030年度10兆円というグループ売上目標の達成に向け日本電産グループ会社間の連携をより一層高めるため、当社の第二本社機能、グループ会社本社や技術開発センターなどを集約する新拠点の建設構想を策定しました。本社と近接する新拠点には、当社の規模拡大に伴い一部機能を移すとともに、日本電産シンポの研究開発拠点の新設や日本電産リードの本社移転も実施し、最終的には5千人体制を目指します。（2030年完成予定）

### 日本電産生産技術研究所

日本電産グループの成長を加速すると共に、21世紀型製造システムを構築するため、マーケットニーズを見据えたものづくり基盤強化と先端技術の取り込みを、大学、研究機関、企業とのネットワークによるオープンイノベーションにより推進します。生産技術のみならず新商品を生み出すための革新的要素技術である人工知能・材料・センサ・アクチュエータ・モジュール／システム化技術などの研究を色々な大学や各種の研究機関と連携して推進して参ります。現在の課題から、未来に向けての課題まで幅広くカバーしていき、短中長期の事業貢献を果たします。

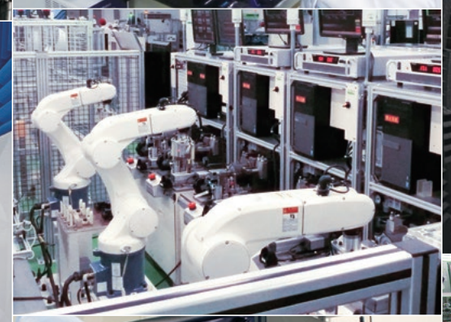

フリーアドレスの業務フロア

### 日本電産モーター基礎技術研究所

日本、台湾に拠点を構え、世界に点在するグループ会社や事業部とのハブとなり、モータに関するあらゆる基礎研究や先端応用研究を進めています。産学官との連携も推進しており、持続可能な社会を支える技術の創出を目指すとともに、日本電産の将来を担う技術者を育成します。

日本電産中央モーター基礎技術研究所

日本電産台湾モーター基礎技術研究所



## *Production and Quality Management*

# 高品質・低コスト・短納期を実現

### 生産ラインは自社開発、重要部品は内製化推進

ユーザー企業の開発スピードに確実に対応し、高品質の製品を迅速に提供していくために、当社では生産ラインを自社で設計・開発しており、また、仕様変更にも素早く対応できる柔軟な生産ラインを確立しています。高付加価値製品を追求するため、国内事業所は研究開発機能中心の活動を行い、各製品分野別の「技術開発センター」では新製品の設計・開発のために量産ラインを想定した生産ラインを構築し、試作評価を行います。

さらに、「技術開発センター」は海外事業所のマザー工場として、綿密な情報交換を図り海外生産をサポートします。

各事業所には品質保証部門を設置し、ISO9001、IATF16949に基づく徹底した品質マネジメントシステムとISO14001に沿う環境マネジメントシステムを備えることで、地球環境に配慮した生産体制を構築しており、さらに従業員の安全性リスクを最小化するため、OHSAS18001、ISO45001に基づく労働安全衛生マネジメントシステムの構築を進めています。

当社及びグループ会社は1994年、国内生産事業所でのISO9000シリーズの認証取得を皮切りに、現在国内事業所30拠点、海外生産事業所114拠点が同認証を取得するとともに、車載用モータの生産事業所・技術開発センターでは、国内事業所25拠点、海外事業所41拠点が「IATF16949」を取得しています。また、国内事業所33拠点、海外事業所89拠点が「ISO14001」の認証を取得し、さらに海外事業所25拠点が労働安全衛生マネジメントシステム（ISO45001またはOHSAS18001）の認証を取得しました。精密小型モータ事業本部品質保証統括部品質管理部第1グループ化学分析チームでは、2009年に化学試験分野の試験所として国際規格「ISO/IEC17025」の認定を取得し、分析依頼を受託しています。

## 日本電産のCSR

「社員」「会社」「製品」は互いを映し合う
社会的な鏡。これらを大切に磨き続け、
地球社会が真に望む“ものづくり”を通じて
自らの成長を紡いでいく――
それが日本電産が描く
CSR（企業の社会的責任）の姿です。
私たちのCSRは、社会に貢献できる製品や
技術を誠実につくりだす事業活動、
そして地域の将来を見据えた
地域の一員としての活動から成り立ちます。
「回るもの、動くもの」で地球社会に貢献し、
豊かで未来ある社会を支えたい、
私たちはそう考えています。

## 製品による環境貢献

日本電産はエネルギー効率の高いブラシレスDCモータを世界にお届けすることにより、電力消費量の削減に貢献しています。また、再生可能エネルギーの信頼性を高めるソリューションとして、電力の安定供給を可能にするBESS (Battery Energy Storage System: 電力貯蔵システム)を開発・提供しています。BESSはこれまでに世界規模のエネルギー供給会社に提供されており、稼働総容量は2021年に730MWを超えました。

英国ナショナル・グリッド社向けに日本電産ASIのBESSが導入されるEDFエナジー社のウェストバートン事業所（英国、ノッティンガムシャー州）

電力貯蔵システム（BESS）

BESSに不可欠な電力変換システム

## 地域社会との調和

■マングローブ植樹（タイ）
植樹を通じて環境保全

■フェイスシールドの寄付（アメリカ）
技術を活かして地域社会に貢献

■スマートライフスタイル大賞の受賞（日本）
環境に配慮した事業活動を推進

日本電産グループは、
事業を展開する世界各地の地域社会において、
その将来を見据えた
多様な活動に取り組んでいます。

■洪水被災者への寄付（ベトナム）
助け合いの精神で支援活動を実施

■淡水魚の放流（タイ）
地域社会の生物多様性を保全

■障がい者雇用の支援（フランス）
地域社会の一員として様々な働き方を支援

## 日本電産WEBサイトでCSR報告書を公開しています。

当社のCSR活動を、ステークホルダーの皆さまに広く知っていただくために、
2004年から毎年継続して報告書を発行しています。皆さまからのご意見・ご感想をお待ちしています。

CSR報告書ダウンロード　https://www.nidec.com/jp/sustainability/report/　日本電産 CSR報告書　検 索

# Nidec Group Network

40ヵ国以上に拡がる300社を超えるグループネットワーク

## 国内

●日本電産株式会社 本社

本社ショールーム

● 日本電産サンキョー株式会社

● 日本電産テクノモータ株式会社

● 日本電産シンポ株式会社

● 日本電産トーソク株式会社

● 日本電産モビリティ株式会社

● 日本電産リード株式会社

日本電産株式会社
本社ANNEX
グローバル研修センター

● 日本電産コパル電子株式会社

● 日本電産コパル株式会社

● 日本電産サーボ株式会社

● 日本電産エレシス株式会社

● 日本電産グローバルサービス株式会社

● 日本電産マシナリー株式会社

MIYAKOホール

拠点数
2021年3月31日時点

## 海外

● ドイツ日本電産モーターズアンド
アクチュエーターズ有限会社

● 日本電産GPM有限会社

● 日本電産ルロア・ソマー
ホールディング社

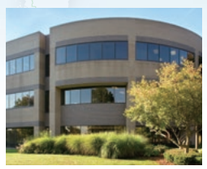
● 日本電産コントロール・テクニクス社

● 日本電産ASI株式会社

● タイ日本電産株式会社

● Nidec Chaun-Choung
Technology Corp.

● 日本電産シバウラ（浙江）有限公司



● 日本電産モータ株式会社

● 日本電産グローバル・アプライアンス・
コンプレッサー・ブラジル社

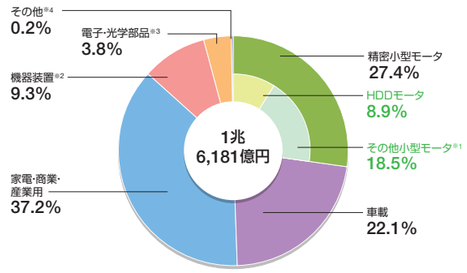
社名掲載は主要な拠点のみです。詳細については日本電産WEBサイトのGlobal Mapをご覧ください。
https://www.nidec.com/jp/worldwide/

# Corporate Directory　会社概要

| | |
|---|---|
| 社　　名 | 日本電産株式会社（ブランド名／Nidec） |
| 英文商号 | NIDEC CORPORATION |
| 代表者 | 代表取締役会長　永守重信 |
| 設　　立 | 1973年（昭和48年）7月23日 |
| 資本金 | 87,784,480,724円（2021年3月31日現在） |
| 株　　式 | 東京証券取引所第1部 |
| 事業内容 | 精密小型モータの開発・製造・販売<br>車載及び家電・商業・産業用モータの開発・製造・販売<br>機器装置の開発・製造・販売<br>電子・光学部品の開発・製造・販売<br>その他 |
| 本　　社 | 京都市南区久世殿城町338　〒601-8205<br>TEL 075-922-1111　FAX 075-935-6101<br>URL https://www.nidec.com/ |

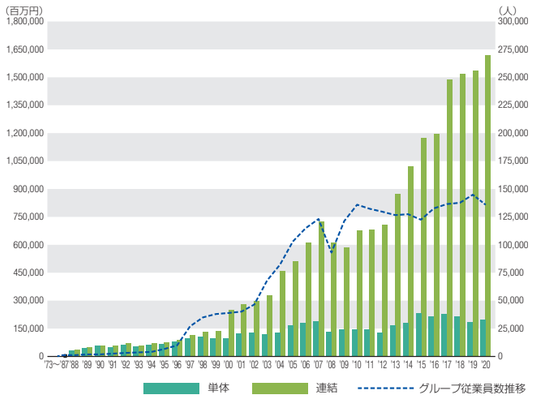
本社

## 製品グループ別売上構成比（2021年3月期）




※1　光ディスク装置用モータ、OA機器用モータ、ポリゴンレーザスキャナ用モータ、MPU冷却用ファン、ゲーム機用ファン、PC通信機器用ファン、家電用ファン、自動車用ファン、携帯電話用振動モータ、ブラシ付モータ、ステッピングモータ、モータ駆動ユニット
※2　産業用ロボット、基板検査装置、高速プレス機器、チップ実装機、計測機器、変減速機、FA機器、カードリーダー
※3　カメラシャッタ、スイッチ、トリマポテンショメータ、部品加工、樹脂成型品
※4　サービス、オルゴール関連商品

## 売上高とグループ従業員推移






# Challenging for Global No.1

40か国以上、10万人以上のグループ従業員が日々挑戦し続け、
「世界No.1の総合電機メーカー」を目指しています。